

目次

1. 巻頭言		
水素エネルギーはいよいよ社会実装のステージへ		225
一般社団法人水素エネルギー協会 副会長 里川重夫 (成蹊大学理工学部 教授)		
2. 特集 「社会実装のステージを迎えた水素貯蔵技術」		
(1) 水素輸送貯蔵技術の今までとこれから		226
九州大学 水素エネルギー国際研究センター 秋葉悦男		
(2) 自立型水素エネルギー供給システム H ₂ One™ ー開発経緯と実績および展開についてー		233
¹ テクノ 2050 中島技術士事務所、 ² 九州大学 水素エネルギー国際研究センター、 ³ 東芝エネルギーシステムズ株式会社 中島良 ^{1,2} 、佐藤純一 ³		
(3) ゼロエミッション・水素タウンにむけた開発と実装		243
¹ 清水建設株式会社、 ² 産業技術総合研究所 沼田茂生 ^{1,2} 、下田英介 ¹ 、瀬川裕太 ¹ 、前田哲彦 ² 、遠藤成輝 ² 、五舛目清剛 ²		
(4) 水素吸蔵合金を利用した水素タンク	東北大学 金属材料研究所 河野龍興	250
(5) MH タンクを用いた低圧水素サプライチェーン実証事業 (環境省 地域連携・低炭素水素技術 実証事業「建物及び街区における水素利用普及を目指した低圧水素配送システム実証事業」)	室蘭工業大学 希土類材料研究センター 亀川厚則	255
(6) PCP/MOF の水素貯蔵量向上のための有機合成的アプローチ		263
¹ 立教大学 理学部化学科、 ² 日本曹達株式会社 菅又功 ¹ 、白井昭宏 ^{1,2} 、箕浦真生 ¹		
(7) アンモニアによる水素貯蔵	広島大学 自然科学研究支援開発センター 小島由継	269
3. 資料 「第166回定例研究会 (Zoom ミーティング) 予稿抜粋」		
(1) 界面アニオンが機能する低温アンモニア合成触媒		279
東京工業大学 元素戦略研究センター 北野政明		
(2) アニオン交換膜形燃料電池用アノード触媒の開発	熊本大学 先端科学研究部 大山順也	280
(3) ハイブリッド水酸化物ナノシートを用いた自己修復性アルカリ水電解アノードの開発		281
横浜国立大学 大学院工学研究院 黒田義之		

4. 研究室紹介

CO₂水素化による有用物質合成 茨城大学 多田研究室 多田昌平 282

5. 若い研究者の声

(1) ～カーボンニュートラルに向けた水素の役割とシナリオ検討～ 284

国立研究開発法人産業技術総合研究所 小澤暁人

(2) 私にとっての水素貯蔵材料と TEM の世界 琉球大学 理学部 清水吉大 286

6. 会告

◆事務局からのお知らせ 288

◆本会の概要、定款 291

◆組 織 297

◆団体会員（連絡先） 298